509 分数と小数，整数の関係

50901 ◇第1時の授業 p108, p109, p110

(1) ・108ページを開いたら，教科書を持って立ちます。
・追い読みをします(■まで)。 ※追い読み→1人読み
(2) ・「分数」を丸囲み、「小数、整数」を丸囲みします(囲む)。
・分数と小数と整数を1つ1つやるのではありません。
・「分数」を、「小数や整数」に直したり、「小数や整数」を分数に直したりする勉強をします。両方の丸囲みに、両矢印をかきます。
(3) ・下の、しほさんの数直線を見ます。上の段をみんなで読みます(読む)。
・0と1が「整数」です。0.1から0.9までが「小数」です。
・なので、数直線の脇に「小数、整数」と書きます。
・下の段は、全部「分数」です。ここに「分数」と書きます。
(4) ・数直線にある「0.1」を指します(指す)。
・「1/10」を指します(指す)。「0.1」も「1/10」も同じ目盛にあります。
ということは、「0.1」と「1/10」は「同じ大きさ」ということになります。
・数直線にある「0.2」を指します(指す)。
・「2/10」を指します(指す)。「0.2」も「2/10」も同じ目盛にあります。
ということは、「0.2」と「2/10」は「同じ大きさ」ということになります。
・下の「…」の脇に、「同じ大きさ」と書きます。
・読みます。「0.1は、1/10と同じ大きさです」(同)。
「0.2は、2/10と同じ大きさです」(同)。
(5) ・「0.3」と同じ大きさの分数が書いてません。いくつですか(3/10)。
「0.3は、3/10と同じ大きさです」(同)。書きます。
・分数の数直線にある赤四角2つを含め、全部書きます(作業)。
書き終わったら、立って説明練習。 ※答え合わせ
(6) ・Ｂさん、こうたさんの所を読んで下さい(読む)。 ※絵図で示す
・まず、分数で考えます。
1Lのジュースを2人で等分すると、1人分は何Lですか。
(1Lのジュースを2人で等分すると1人分は1/2Lです)。※4人5人同様
・次に、わり算で考えます。
1Lのジュースを2人で等分する式は、何ですか(1÷2)。書いてます。
(1Lのジュースを2人で等分すると、1人分は1÷2=0.5だから0.5Lです)。
※4人、5人も同様
・「分数」と「小数」を比べます。「1/2L」と「0.5L」を囲みます。
・説明します(1/2Lは、0.5Lと同じ大きさです)。ブリッジをかきます。
脇に書きます。 ※4人、5人も同様
・同じ量を、「分数」でも「小数」でも、どちらでも表せます。
2通りの答え方がある、ということです。
(7) ・？マーク「2人の振り返りを見て～」とあります。
・Ｃさん、あみさんの吹き出しを読んで下さい(読む)。みんなで(読む)。
「同じ大きさの数」を丸囲みします。
・Ｃさん、はるとさんとみさきさんの吹き出しを読んで下さい(読む)。
(8) ・次のページを見ます。追い読みをします(問題文まで)。※追い読み
タイトルの所の、「分数」と「小数、整数」に丸囲み。
・右側の絵を見ます。3人の所にコップがあります。
今からジュースを分けます。等分ということは、同じ量を分けると

いうことです。
・びんにジュースは何L入っていますか(□L)。絵の脇に書きます。
(9)・下の左側の図を見ます。ジュースが「1L」のときです。
・中に点線があって、3等分しています。1人分は、何Lですか(1/3L)。
・このように(ICT)1つ1つ「1/3L」と書きます。下の赤四角にも書きます。
・読みます。「1Lの3等分だから、1人分は1/3L」(同)。
・絵の中の、1人分を斜線にします。
(10)・右側の図を見ます。ジュースが「3L」のときです。
1Lが3つ分あります。中に線があって、それを3等分しています。
1人分は、何Lですか(1L)。
・このように(ICT)1つ1つ「1L」と書きます。下の赤四角にも書きます
・読みます。「3÷3=1だから、1人分は1L」(同)。
・絵に中の、1人分を斜線にします。
(11)・みささきさんが、吹き出しで言っています。
ジュースが2Lのときどうするかです。その問題が□1です。読みます。
・下に、「数直線図」があります。
・「数直線図」を読みます。縦に読むのでしたね。
・「1人で□L、3人で2L」と読みました。「1人で□L」(同)「3人で2L」(同)。
・「1人で□L」を青囲み。問題文にも青囲み。
・「3人で2L」を黒囲み。問題文にも黒囲み。
・さて、□の求め方は、比例の単元の時に習いました。
・追い読みをします。
「1から3へ3倍しているので」(同)「□から2へも3倍します」(同)
「数直線の式は□×3＝2」(同)「問題の式は2÷3です」(同)。
・□1の上側に、「数直線の式」を書きます。そして、「問題の式」を出す。
・「式」の所に書きます(2÷3)。
(12)・答えはだいたいどのくらいでしょうか。
・Ａさん、りくさんの吹き出しを、「…」に言葉を入れて読んで下さい
(1Lの時より多く、3Lの時より少ない)。
・こうたさんは、わり算を筆算しています。　※板書で2÷3の筆算
割り切れず、すっきりしませんね(0.666…)。
・図で考えます。右側の図を見ます。ジュースが2Lのときです。
・これを3等分するのは、少し難しいですね。
・「1Lの図」の時のように、横線で3等分します。このように引きます。
この部分(ICT)が1人分です。青囲み。1人分は何Lかを調べます。
・右側の「1L」を、掌で隠します。1人分は何Lでしたか(1/3L)。
図の中に「1/3L」を3つ書きます。掌を外し、こちらにも書く(1/3L)。
・「2Lの図」の中に、「1/3Lが6つ」あります。1人分は何Lですか(2/3L)。
(13)・？マーク「わり算の商の表し方を考えよう」とあります。
・p110を開きます。Ｂさん,①を読んで下さい(読む)。
・「2Lの図」を指さします(指す)。これを3人で分けます。
・「真ん中の図」を見ます。さっきと同様、点線で区切られています。
1人分は、「濃いオレンジ」になってます。
・さっきと同じように、1/3Lを6こ図の中に書きます。
・隣の絵を見ます。1人分の「1/3Lの濃いオレンジ」2つ分を集めました。
・ここに「1人分」と書きます。「1/3L」と「1/3L」で、何Lですか(2/3L)。
・下の赤四角に、「2/3」と書きます。「2÷3＝2/3」になります。
(14)・みささきさんの吹き出しの中に赤四角が3つあります。ヒントは上の図
です。3つとも数を入れます。　※答え合わせ
・みんなで読みます(読む)。

(15)・Ｃさん、②を読んで下さい(読む)。
・はるとさんの吹き出しの中を見ます。「2L」が「4L」に変わりました。
・「4Lを1Lずつ4つに分けて考えます」(同)。
(ICT)橙色のここ1つ分は何Lですか(1/3L)。図の中に書きます。
・ここもここもここも「1/3L」ですね。図の中に書きます。
・「1/3Lの4こ分」をここにまとめました。仮分数です。何Lですか(4/3L)。
・左の赤四角に「4/3」と書きます(書く)。「4÷3＝4/3」になります。
(16)・Ｄさん、③を読んで下さい(読む)。
・毎回毎回絵をかいていたら大変です。わり算を「分数」で答える時、何か「きまり」がありませんか。　※自由発言の中から抽出
・今Ｅ君が言ったこと、「わる数が分母」「わられる数が分子」という「きまり」は使えそうです。※わられる数→赤囲み、わる数→青囲み
・Ａさん、まとめを読んで下さい(読む)。
・わる数を分母、わられる数を分子にすれば、わり算の商は「分数」で求めることができます。
・先生問題を出します。
・3÷5は(3/5)。4÷9は(4/9)。192÷23は(192/23)。…　※たたみかけ
・今までは、必死で筆算をして答えを求めましたが、「分数」を使えば一瞬で答えが出ますね。これはとても便利ですね。
・しかも、もう一つのよい点があります。
・Ａさん、ますりんの所を読んで下さい(読む)。
・「2÷3」を筆算で求めると「0.666…」となってわりきれませんでした。でも、「分数」で答えると「2/3」となり、きっちりと求められました。
(17)・みんなで、まとめとますりんを読みます。立って1回座って2回3回。

★ポイント(50901)

(1)同じ大きさの「分数」と「小数、整数」があることを知る。
　〇数直線で、同じ大きさであることを確かめる。

《おしゃべり》
(1)0.5は、5/10と同じ大きさです。
(2)1は、10/10と同じ大きさです。

　〇わり算で計算して、同じ大きさであることを確かめる。

式で表す

《おしゃべり》
(1)1Lのジュースを2人で等分します。
(2)分数で考えると1/2Lです。
(3)わり算で考えると1÷2は0.5。
(4)だから1/2Lは0.5Lと同じ量です。

(2)わり算の「商」は、分数で表せることを知る。
　〇絵図をもとにして、「2÷3＝2/3」であることを確認する。

図を見て説明する

《おしゃべり》
(1)2Lを、1Lずつ2つに分けて考えます。
(2)2Lを3等分した1こ分は、1/3Lの2こ分になります。
(3)だから、「2/3L」になります。
(4)なので、「2÷3＝2/3」です。

　〇「わる数」を分母、「わられる数」を分子にして、「商」を分数で表せる。

式を見て説明する

わり算の答えが一瞬で出る

《おしゃべり》
(1)わり算の商は分数で表すことができます。
(2)「わる数」が分母、「わられる数」が分子になります。
(3)なので，「2÷3＝2/3」です。

50902 ◇第2時の授業 p110, p111

(1) ・110ページを開いたら,教科書を持って立ちます。
・まとめとますりんの追い読みをします。 ※追い読み→1人読み
・3÷5は(3/5)。4÷9は(4/9)。192÷23は(192/23)。… ※たたみかけ
(2) ・Ａさん、④を読んで下さい(読む)。脇に書きます。
・説明します。
(わる数が分母、わられる数が分子になるので1÷3＝1/3です)。
・今日は、「わり算の商」を「分数」で表す書き方を、確認します。
まず書き順です。はじめは(横棒)。次は(分母)。そして(分子)。
・空書きで「1/3」を3回、机の上に指なぞりで3回書きます(作業)。
・ノートに、「1÷3」の式を書いて答えます(1÷3=1/3)。
※分数書き方チェック
・分数の計算は、このように二行を使って表します。
・このように、1行だけの書き方はダメとします。
・わけは、今後、分数を使って計算などをするときは、様々な補助数字を書きます。そのとき、1行分数だと数が小さすぎるからです。
※4/12で、約分の例示 1/3＋2/5で、通分の例示
・分数と整数を同時に書くときは、「整数」は2行の中間に書きます。
ただし、文章に分数が入るときは、1行分数でもOKとします。
・分数の横棒は、基本、定規を使用します。
面倒だと思う人もいるかもしれませんが慣れて下さい。
丁寧な数を書くことが、計算力アップにつながります。
(3) ・Ｂさん、黄色い枠を読んで下さい(読む)。
・「23.45」。十の位の「2」は、何が2こありますか(10)。
一の位の「3」は、何が3こありますか(1)。
1/10の位の「4」は、何が4こありますか(0.1)。
1/100の位の「5」は、何が5こありますか(0.01)。
・これらは、それぞれの位の「基本単位」です。
※「10, 1, 0.1, 0.01」を板書
・「3/5」は、何が3こありますか(1/5)。
「4/9」は、何が4こありますか(1/9)。
「2/3」は、何が2こありますか(1/3)。
・これらは、それぞれの分数の「基本単位」です。「1/3」を青囲み。
※「1/5, 1/9, 1/3」を板書
・イの「2/3」は、わり算の商なので、「商分数」とも言われています。
(4) ・練習問題に入ります。Ｂさん、△1を読んで下さい(読む)。
・2問あります。さっきの「分数の書き方」に注意してノートに書きます。
(4÷5＝4/5, 5÷4＝5/4)。 ※答え合わせ
・書いたら、説明練習をします。
(わる数が分母、わられる数が分子なので、4÷5＝4/5です)。
・△2も、同じやり方です。ノートに書きます。 ※答え合わせ
(5) ・△3は、今までと逆です。「分数」を「わり算の式」に直します。
・①だけ一緒にやります。赤四角に数をいれます(9)。
・言葉の式で言うと、何÷何ですか(分子÷分母)。脇に書きます。
・説明をします(分子÷分母なので、5/9は「5÷9」です)。
・残りの問題を解きます。できたら立って説明練習。
(分子÷分母なので、1/4は「1÷4」です)。 ※以下同様
(6) ・Ｃさん、△4と青い所を読んで下さい(読む)。

・下のテープ図を見ます。
・テープの全体の長さは、何mですか(2m)。図にも問題文にも囲みます。
・2mを、何等分しますすか(3等分)。赤ポツで示します。問題文赤囲み。
・しほさんの吹き出しを見ます。
・しほさんは「3等分した1こ分の長さだから1/3です」と言っています。
しほさんの考えは正しいですか、正しくないですか(正しくない)。
・確かに、上のテープの赤い所は、「3等分した1こ分の長さ」です。
・正しそうに見えますよね。なぜダメですか　※自由発言
・もし「全体の長さ」が「1m」だったら、しほさんは正しかったのですね。
でも「全体の長さ」は、「1m」ではなく「2m」なのです。
・こうたさんの吹き出しの赤四角を埋めます(2, 2/3)。
「1こ分の長さは」(同)「2÷3で2/3mです」(同)。
・答えは「1/3m」ではなく「2/3m」でした。しほさんの吹き出しを「×印」。
(7)・Dさん、あみさんの吹き出しを読んで下さい(読む)。
・「…」に何が入りますか(～3等分した1こ分の長さ)。脇に書きます。
・あみさんの吹き出しの中の図を見ます。
・「1/3mは、1mを3等分した1こ分の長さ」は、上下どちらですか(下側)。
矢印で示します。
・「2/3mは、2mを3等分した1こ分の長さ」は、上下どちらですか(上側)。
矢印で示します。
・「割合」として、「全体の1/3」ということはあります。
でも、その1/3は「割合」なので、単位を書いてはいけません。
(11)・スキル46番を開きます。　※スキルシステム
(12)・残りの時間は、これまでのスキルのやってない所の整理です。

★ポイント(50902)

(1)わり算の商は、分数で表すことができ、商分数は、「分子÷分母」であることを知る。
○「4÷5＝4/5」「4/5＝4÷5」。

《おしゃべり》
(1)わる数は4、わられる数は5なので、商は4/5です。
(2)「分子÷分母」なので、わり算の式は「4÷5」です。

(2)「1/3m」は、「1m」を3等分した1こ分であることを確認する。
○「2m」を3等分した1こ分→2/3m
○「2m」を全体とみる→全体の1/3(割合分数)　※単位は書かない
※「量分数」と「割合分数」は違う。

量分数は基準単位の量を分割

割合(商)分数は全体の量を分割

《おしゃべり》
(1)1/3mは,「1m」を3等分した1こ分の長さです。
(2)上の問題は、「2m」を3等分した1こ分の長さです。
(3)「2m」を3等分しているので,「2÷3」となり、答えは2/3mです。

50903 **◇第3時の授業** p112

(1)・112ページを開いたら,教科書を持って立ちます。
・追い読みをします(□2)。 ※追い読み→1人読み
・表を見ます。3本のリボンがあります。
赤のリボンは5m。白のリボンは4m。青のリボンは6m。
・どのリボンをもとにするのですか(赤のリボン)。なぜですか
(問題文に、赤のリボンをもとにすると書いてあるから)。青下線。
・「もとにする」とは、「1倍」ということです。「5mを1とする」のです。
それをもとにして、白のリボンと青のリボンを比べます。
(2)・Ａさん、しほさんの吹き出しを読んで下さい(読む)。
・倍の問題は、これまでも勉強してきました。
3年生の時は、3倍、4倍などの「整数」で表しました。
4年生の時は、1.5倍、0.8倍などの「小数」で表しました。
5年生の今、倍を「分数」でも表せるかどうかを勉強します。
(3)・？マーク「分数を使った倍の表し方を考えよう」とあります。
・下側に、2つの数直線図があります。問題は2問あるからです。
・まず1問目。上側の数直線図は、「赤リボン」と「白リボン」を比べています。「赤と白のリボン」となるように、「赤と」を書き加えます。
・「数直線図」を読みます。
・普通の読み方は、「1倍で5m、□倍で4m」です。
・「倍の問題」や「割合の問題」の時は、上側から読みます。
「5mを1とみると、4mは□にあたります」(同同同)。
・「5mを1とみると」に青囲み。「4mは□にあたる」に黒囲み。
・黒囲みの中の□が、「倍の問題」の答えです。赤囲みをします。
問題文の「何倍」にも、赤囲みします。
(4)・さて、「数直線図の式」を使って、□を求めます。
・「1」からスタートして「□」へ矢印をかきます。
「1」の左側に「□」があるので、矢印の向きも、いつもと反対ですね。
・「1」から「□」へ、何倍ですか(□倍)。「×□」をかきます。
・なので、「5」から「4」へも、矢印と「×□」をかきます。
・追い読みします。「1から□へ□倍」(同)「なので5から4へも□倍」(同)「数直線の式は、5×□＝4になります」(同)。脇に書きます。
・かけ算の中に□があるときは、何算をしますか(わり算)。
・わり算の直し方を追い読みします。「□の下に□」(同)「＝の下に＝」(同)「4の下に4」(同)「5×を÷5にします」(同)「□＝4÷5です」(同)。
・数直線の脇に、「4÷5」と書いてあります。
・前は筆算でしたが、今は一瞬で解けます。赤四角に書きます(4/5)。
・答えは「4/5倍」でした。
はるとさんが、「小数で表すと0.8倍だね」と言ってます。
※板書で「4÷5」を筆算する
(5)・説明練習をします。
・数直線図を見ながら説明します。
「5mを1とみると」(同)「4mは□にあたります」(同)「1から□へ□倍しているので」(同)「5から4へも□倍します」(同)「数直線の式は5×□＝4」(同)「問題の式は4÷5」(同)「答えは4/5倍です」(同)。
※追い読み→全員読み
(6)・次は2問目。下側の数直線図は、「赤リボン」と「青リボン」を比べています。「赤と青のリボン」となるように、「赤と」を書き加えます。

・数直線図を読みます(1倍で5m,□倍で6m)。
「5mを1とみると、6mは□にあたります」(同同同)。
・「5mを1とみると」に青囲み。「6mは□にあたる」に黒囲み。
・黒囲みの中の□が、「倍の問題」の答えです。赤囲みをします。
(7)・さて、数直線図を使って□を求めます。
・「1」からスタートして「□」へ矢印をかきます。
「1」の右側に「□」があるので、矢印の向きは通常通りですね。
・「1」から「□」へ、何倍ですか(□倍)。「×□」をかきます。
・なので、「5」から「6」へも、矢印と「×□」をかきます。
・追い読みします。「1から□へ□倍」(同)「なので5から6へも□倍」(同)
「数直線の式は、5×□=6になります」(同)。脇に書きます。
・さっきと同じようにして、「問題の式」を作ります。いくつ(6÷5)
・前は筆算でしたが、今は一瞬で解けます。赤四角に書きます(6/5)。
・答えは「6/5倍」でした。小数で表すといくつですか(1.2)。
※板書で「6÷5」を筆算する
(8)・説明練習をします。
・数直線図を見ながら説明します。
「5mを1とみると」(同)「6mは□にあたります」(同)「1から□へ□倍して
いるので」(同)「5から6へも□倍します」(同)「数直線の式は5×□=6」
(同)「問題の式は6÷5」(同)「答えは6/5倍です」(同)。
※追い読み→全員読み
(9)・Aさん、黄色い枠を読んで下さい(読む)。
・倍の問題でも、「分数」で表せるということです。
・Bさん、まとめを読んで下さい(読む)。
(10)・Cさん、△5を読んで下さい(読む)。問題は2問あります。
・右側の絵を見ます。
・何と何を比べていますか(親犬と子犬)。黒囲み。
・子犬の体重は、何kgですか(6kg)。丸囲みをします。
・親犬の体重は、何kgですか(11kg)。丸囲みをします。
・まず1問目だけをやります。
・Dさん、1問目だけを、もう一度読んで下さい。
・どちらを「もと」にするのか、見つけ方がありました。
・まず「何倍」の所を赤囲み。「どちらの何倍」と書いてありますか
(子犬の体重の何倍)。青下線を引きます。
・なので、「もと」にする方は子犬です。問題文を青でなぞります。
(11)・さて、この問題には「数直線図」がついていません。
「数直線図」がない時のやり方を勉強します。
・さっき青下線をひきました。
★青線の所を式にします。「子犬の体重の何倍」とあります。
・絵を見ます。「6kgの体重」を□倍します。　※板書　6×□
「6×□kg」の体重になります。
・この「6×□kg」は、誰の体重と同じになりますか(親犬)。
・なので、こんな式ができます。
「子犬の体重を□倍すると」(6×□をかく)
「親犬の体重と同じになります」(=11をかく)
・できた式は、「6×□=11」です。脇に式を書きます。
・続けて計算して、答えます
(6×□=11、□=11÷6、□=11/6　答え11/6倍)。
(12)・2問目。これも親犬と子犬を比べています。黒囲み。「何倍」に赤囲み。
青下線を引きます。今度はどちらをもとにしていますか(親犬)。

・「親犬の体重の何倍」とあります。
・絵を見ます。11kgの体重を□倍します。　※板書　11×□
「11×□kg」の体重になります。
・この「11×□kg」は、誰の体重と同じになりますか(子犬)。
・なので、こんな式ができます。
「親犬の体重を□倍すると」(11×□をかく)
「子犬の体重と同じになります」(＝6をかく)
・できた式は、「11×□＝6」です。脇に式を書きます。
・続けて計算して、答えます
(11□＝6、□＝6÷11、□＝6/11　答え6/11倍)。
・「数直線図」がないときは、青下線を式にして、計算するのです。
・いずれ「数直線図」サービスがなくなるかもしれません。
そのために、この方法も覚えておきます。
(13)・スキル47番を開きます。　※スキルシステム

★ポイント(50903)

(1)整数や小数と同じように、分数でも倍で表せることを知る。
○「数直線図」を使って、問題を解く。

《おしゃべり》
(1)5mを1とみたとき，4mは□にあたります。
(2)「1」から「□」へ□倍しているので、「5」から「4」へも□倍します。
(3)数直線図の式は「5×□＝4」。
(4)問題の式は「4÷5」。
(5)答えは、4/5倍です。

○「数直線図」がないときの、問題の解き方がわかる。
・青下線の部分を式にする。
「子犬の体重の□倍」→6×□
・この量が、何の量と同じかを「＝」で表す。
「6×□＝11」

《Q＆A》
(発問1)何と何を比べていますか。　(親犬の体重と子犬の体重)
(発問2)親犬と子犬の体重は何kgですか。　(11kg, 6kg)
(指　示)どちらをもとにするかを調べます。「何倍」を赤囲みします。
(発問3)「どちらの何倍」と書いてありますか。　(子犬の□倍)
(指　示)「子犬の体重の何倍」の所に青下線を引きます。
(発問4)ということは、もとにする方はどちらですか。　(子犬)
(発問5)青下線の所を式にします。子犬の体重を何倍かするので6×□。
「6×□kg」は、誰の体重と同じですか。　(親犬)
(指　示)式に表します。　(6×□＝11)
(指　示)計算をして答えを出します。　(□＝11÷6　□＝11/6　11/6倍)

50904 ◇第4時の授業 p113, p114

(1) ・113ページを開いたら,教科書を持って立ちます。
・追い読みをします(最初の1文のみ) ※追い読み→1人読み
・下のテープ図を見ます。
・全体の長さは、何mですか(3m)。このテープを何等分しますか(5等分)。
その1こ分が赤くなっています。
・1こ分の長さを求める式は、何ですか(3÷5)。下に書いてあります。
(2) ・りくさんは、分数で解いています。赤四角に数を入れます(3/5)。
・みさきさんは、小数で解いています。
計算して、赤四角に数を入れます(0.6)。 ※板書 3÷5を筆算
(3) ・「3÷5」の答えが、「3/5」と「0.6」の2つが出ました。
・どちらが正しいのですか(どちらも正しい)。
・ということは、「3/5＝0.6」ということですね。
みんなで言います「3/5は、0.6と大きさが同じ」(同)。証拠を見ます。
(4) ・Aさん、はるとさんとますりんの吹き出しを読んで下さい(読む)。
・数直線の上側を見ます。「0」と「0.1」が書いてあります。
・1目盛はいくつですか(0.1)。ということは、次の赤四角は(0.2)。
次は(0.3)。全部書きます。 ※答え合わせ
・数直線の下側を見ます。「0」と「1/5」が書いてあります。
・1目盛はいくつですか(1/5)。ということは、次の赤四角は(2/5)。
全部書きます。 ※答え合わせ
・「3/5は0.6と同じ大きさ」は、どこでわかりますか。青で囲みます。
・読みます。「3/5は、0.6と同じ大きさです」(同)。
・Bさん、1/5から順に説明して下さい(1/5は0.2と同じ大きさです。
2/5は0.4と同じ大きさです。…)。
・全員起立。Bさんと同じように説明します(同)。
・Bさん、あみさんの吹き出しを読んで下さい(読む)。
(5) ・Cさん、□1を読んで下さい(読む)。
・？マーク「分数を小数で表す方法を考えよう」とあります。
・今日は、「分数」を「小数」に直す勉強をします。
「分数」と「小数」を丸囲み。矢印をつけます。
・Cさん、しほさんの吹き出しを読んで下さい(読む)。
・「3/4」をわり算にすると、いくつですか(3÷4)。
「3÷4」をノートに計算して、赤四角に書きます(0.75)。
・これで、分数の「3/4」を、小数の「0.75」に変えることができました。
・説明します「3/4は、0.75と同じ大きさです」(同)。
・右側を見ます。「2/9」も小数にします。
・「2/9」をわり算にすると、いくつですか(2÷9)。
・「2÷9」をノートに計算します(わりきれない)。
・このように、「分数」を「小数」にしようとすると、割り切れずに正しく
表せないことがあります。
・書き方の基本形を、ノートに書きます。 ※3/4＝3÷4
「＝」は、縦で揃えます。 ＝0.75
(6) ・p114を開きます。Dさん、まとめを読んで下さい(読む)。
脇に「分子÷分母」と書きます。
・「分数を小数にしたいときは、分子÷分母にする」(同同同)。
(7) ・Aさん、①を読んで下さい(読む)。
・これまでとの違いは何ですか(分数が、帯分数になっている)。

・分数を小数に直すには、「分子÷分母」にすることはわかりました。
・でも、「帯分数」には整数が含まれています。この整数はどうすればいいかということです。
(8)・Ｂさん、あみさんの所を読んで下さい(読む)。どんな考えですか(2と3/4を分けて考えている)。「2」と「3/4」を、別々に丸囲みします。
・「3/4」を小数にすると何ですか(0.75)。丸囲み。そして3/4とブリッジ。
・「2＋0.75」なので、「2.75」ということです。
・Ｂさん、こうたさんの所を読んで下さい(読む)。どんな考えですか(帯分数を仮分数にして考えている)。
・「2と3/4」を仮分数にします。いくつですか(11/4)。
「×」「＋」の記号をつけて直すのでしたね。
・仮分数に直せば、「分子÷分母」が使えます。式は何ですか(11÷4)。
計算すると、「2.75」になります。
・説明します。「2と3/4を小数に直すと、2.75になります」(同)。
(9)・練習問題に入ります。
・Ｃさん、△1を読んで下さい(読む)。
・どちらが大きいか、すぐにわからないのはなぜですか(小数と分数で、数の種類が違うから)。どうしますか(種類を揃える)。
・「4/5」を「小数」にすればいいのですね。計算します(4÷5＝0.8)。
・「4/5」の左側に「0.8＝」と書きます。どちらの数が大きいですか(4/5)。
不等号の「＞」を書きます。説明練習をします。
(4/5を小数に直します。分子÷分母なので4÷5。答えは0.8です。
なので、4/5は、0.7よりも大きいです)。
(10)・△2を6問ともやります。
・「分子÷分母」で計算すればいいですね。
答えが「整数」になる場合も出てきます。　※習熟システム
(11)・スキル48番を開きます。　※スキルシステム

★ポイント(50904)

(1)「分数」を「小数・整数」で表すときは、「分子÷分母」をすることを知る。
○わりきれずに、正確に表せないときもあることがわかる。
・「2/9＝2÷9＝0.222…」

真分数→小数

《おしゃべり》
(1)3/4を小数に直します。
(2)分子÷分母なので，3÷4。
(3)答えは 0.75です。

○「帯分数」を小数に直すときの基本は、「仮分数」に直してから計算することを知る。

帯分数→小数

《おしゃべり》
(1)「2と3/4」を小数に直します。
(2)まず帯分数を仮分数に直します。
11/4です。
(3)次に小数に直します。
分子÷分母なので、11÷4。
(4)答えは、2.75です。

50905 **◇第5時の授業** p115

(1)・115ページを開いたら立ちます。　※板書　12/5、3・2/5
(2)・追い読みをします。昨日の復習です。　※追い読み→1人読み
「12/5を小数に直します」(同)「分子÷分母なので12÷5」(同)
「答えは2.4です」(同)
「3と2/5を小数に直します」(同)「まず仮分数に直します」(同)「17/5です」(同)「分子÷分母なので17÷5」(同)「答えは3.4です」(同)。
(3)・Aさん、□2を読んで下さい(読む)。問題は5問あります。
・?マーク「小数や整数を分数で表す方法を考えよう」とあります。
昨日の逆で、今日は「小数・整数」を「分数」に直す勉強をします。
「小数や整数」と「分数」を丸囲み。矢印をつけます。
・「小数」は□2のどれですか(0.3, 0.29, 1.57)。整数はどれですか(4, 12)。
(4)・Bさん、①を読んで下さい(読む)。
まず、「小数」を「分数」にします。
・1問目。Bさん、みさきさんの吹き出しを読んで下さい(読む)。
・「0.1」は、「1/10の位の基本単位」です。「0.1」を青□囲み。
・「0.1」を分数にするといくつですか(1/10)。忘れた人はp108を見ます。
・下の、1行目の赤四角を埋めます。「0.1＝1/10」を青囲み。
読みます。「0.1は1/10と同じ大きさだから、0.3は3/10」(同同同)。
・先生問題をします。　※0.5→0.9→1.5→9.8たたみかけ方式
(5)・Cさん、りくさんの吹き出しを読んで下さい(読む)。
・2問目。「0.29」を分数にします。りくさんの吹き出しを見ます。
・「0.01」は、「1/100の位の基本単位」です。「0.01」を青□囲み。
・「0.01」を分数にすると、いくつですか(1/100)。
・下の、2行目の赤四角を埋めます。「0.01＝1/100」を青囲み。
読みます。「0.01は1/100と同じ大きさだから、0.29は29/100」
(同同同)。
・3問目。「1.57」を分数にします。2問目と同じです。
・下の3行目の赤四角を埋めます。「0.01＝1/100」を青囲み。
読みます。「0.01は1/100と同じ大きさだから、1.57は157/100」
(同同同)。
・先生問題をします。　※0.35→0.92→9.88たたみかけ方式
・別の覚え方もあります。
(6)・Dさん、まとめを読んで下さい(読む)。
・「10、100などを分母とする分数」の所に、赤下線を引きます。
・教科書には書いてありませんが、「0.001」は何分の1ですか(1/1000)。
「0.003」を分数にすると、いくつですか(3/1000)。
(7)・Aさん、②を読んで下さい(読む)。
4問目と5問目は、「整数」を「分数」に直す方法です。
・「0.01」を分数にすると「1/100」。「0.1」を分数にすると「1/10」でした。
・では、「1」を分数にすると何ですか。
「1」は、「一の位の基本単位」なので「1/1」なのです。
脇に、「1＝1/1だから」と書きます。「1は1/1と同じ大きさ」(同)。
・「2」を分数にすると(2/1)。「3」を分数にすると(3/1)。
・「整数」を「分数」にするときは、分母を「1」にします。
・「4」を分数にすると、いくつですか(4/1)。赤四角に書きます。
「12」を分数にすると、いくつですか(12/1)。赤四角にかきます。
・読みます。「1は1/1と同じ大きさだから、4は4/1です」(同)。

「1は1/1と同じ大きさだから、12は12/1です」(同)。
・先生問題をします。　※8→9→23→345たたみかけ方式
(8)・Ｂさん、まとめを読んで下さい(読む)。
・「1などを分母とする分数」の所に、赤下線を引きます。
(9)・練習問題に入ります。
・Ｃさん、△3を読んで下さい(読む)。
・答えを脇に書いていきます。　※習熟システム
(10)・スキル49番を出します。　※スキルシステム

★ポイント(50905)

(1)「小数・整数」を「分数」で表すときは、基本単位を分母にすることを知る。

○「0.3」は、「0.1＝1/10」が3こ分　→3/10。

小数第一位→分数

《おしゃべり》
(1)0.3を分数に直します。
(2)「0.1」は、「1/10」と同じ大きさだから、0.3は3/10です。

○「0.29」は、「0.01＝1/100」が29こ分→29/100。

小数第二位→分数

《おしゃべり》
(1)0.29を分数に直します。
(2)「0.01」は、「1/100」と同じ大きさだから、0.29は29/100です。

○「12」は、「1＝1/1」が12こ分　→12/1。

整数→分数

《おしゃべり》
(1)4を分数に直します。
(2)「1」は、「1/1」と同じ大きさだから、4は4/1です。

50906 ◇第6時の授業 p116, p117

(1) ・117ページを開いたら，教科書を持って立ちます。
(2) ・まず「算数の目」をやってから「たしかめよう」をやります。
・追い読みをします(①まで)。 ※追い読み→1人読み
(3) ・Ａさん、みさきさんの所を読んで下さい(読む)。
・「ある大きさ」を丸囲みします。全体の長さが何mかは、わかりません。
・テープ図を見ます。何mかはわかりませんが、4等分しています。
・1こ分の長さは何分の1ですか(1/4)。図に書きます。
単位はつけません。全体が何mかわからないので、つけられません。
・「1/4」の3こ分が赤くなっています。いくつですか(3/4)。
赤四角に書きます。
・アの図の赤い所は「全体を1とすると、赤いところは3/4にあたります」。
これは、「割合」の表現です。脇に「割合」と書きます。
(4) ・Ｂさん、はるとさんの所を読んで下さい(読む)。「量」を丸囲み。
・テープ図を見ます。今度は、「全体の長さが1m」と書いてあります。
・1こ分の長さは、何mですか(1/4m)。図に書きます。単位をつけます。
・ますりんが言っています。何と言っていますか(1/4mの3こ分だね)。
赤四角を埋めます。こちらも埋めます(3/4)。
・読みます。「1mの3/4の長さは、3/4mです」(同)。脇に「量」と書きます。
(5) ・みさきさんとはるとさんのテープ図の違いは、単位をつけているか
つけていないかの違いです。
・上の図は「割合」の図です。下の図は「量」の図です。
(6) ・Ｃさん、あみさんの所を読んで下さい(読む)。
・何リボンと何リボンを比べていますか(青のリボンと白のリボン)。
問題文に黒囲みをします。
・どちらが「もと」なのかを調べます。倍に赤囲みをします(□/□倍)。
・「どちらの3/4倍」と書いてありますか(白のリボンの□倍)。青下線。
・ということは、どちらが「もと」ですか(白のリボン)。
問題文にも表にも、青なぞりと青囲みをします。
・数直線がないパターンです。青下線の所を式にします。
・白のリボンを□倍するので、式は(4×□)。
・「4×□m」の長さは、何の長さと同じになるのですか(青リボンの3m)。
・式にします(4×□＝3)。脇に書きます。
・□を求める式にします(□＝3÷4　□＝3/4)。赤四角を埋めます。
・説明します。「4mを1とみたとき、3mは3/4にあたります」(同)。
・4mや3mは「量」ですが、「3/4にあたる」は「割合」です。
倍の問題は、「割合」の仲間です。脇に「割合」と書きます。
(7) ・Ｄさん、りくさんの所を読んで下さい(読む)。
・「3÷4」を分数にします(3/4)。赤四角を埋めます。
・「3mのテープを4等分しました。1人分は何mですか」という問題のとき、
式は「3÷4」にします。答えは何ですか(3/4m)。脇に「量」と書きます。
(8) ・p116に戻ります。
・△1は、4問あります。赤四角を埋めたら立って説明練習。
(5/6は、分子÷分母なので5÷6です)。 ※答え合わせ
(わる数が分母、わられる数が分子なので、7÷5＝7/5です)。
※答え合わせ
(9) ・Ａさん、△2①を読んで下さい(読む)。
・何と何を比べるのですか(20mと15m)。黒囲み。

・どちらが「もと」かを調べます。「何倍」を赤囲み。
・「どちらの何倍」と書いてありますか(15mの何倍)。青下線。
・ということは、「もと」にする方は(15m)。青なぞり。
・数直線がないので、青下線を式にします(15×□)。
・「15×□m」は、何と同じ長さになりますか(＝20m)。
・脇に、式を脇に書きます(15×□＝20)。
・計算して答えを出します(□＝20÷15　□＝20/15　答　20/15倍)。
※②も同様

(10)・Ｂさん、③を読んで下さい(読む)。③と④は「割合」の問題です。
・割合の問題は、数直線を使います。
・何と何を比べるのですか(3cmと2cm)。黒囲み。
・どちらが「もと」かは、問題文に書いてあります。「3cmを1とみると」。
青下線をひきます。「もと」にする方は3cmです。青なぞり。
・数直線をかきます。　※板書　数直線図
・「もと」にする方は3cmなので、「1」の上に3と書きます。
・比べる2cmはここです。ここが□です。
・「数直線図」を読みます。
「3cmを1とみたとき、2cmは□にあたります」(同)。
・記号をかいて、「数直線図の式」を出します(3×□＝2)。
・脇に書いて、答えも出します。終わったら、立って説明練習をします。
(1から□へ□倍なので、3から2へも□倍します。数直線図の式は
3×□＝2。□＝2÷3　□＝2/3　答えは、2/3にあたります)。
※④も同様

(11)・最初に△4をやります。　昨日やりました。
・分母が「10」になるのは、何番ですか(①③)。
・分母が「100」になるのは、何番ですか(②④⑥)。
・分母が「1」になるのは、何番ですか(⑤)。
・答えは、脇に書きます。書いたら立って説明練習。
(0.5を分数に直します。0.1は1/10と同じ大きさだから、0.5は5/10
です)。　※他も同様

(12)・△3をやります。問題は6問あります。
・「分数」を「小数」に直すとき、最初にすることは何ですか
(わり算の式にする)。何÷何にしますか(分子÷分母)。
・①をわり算の式にすると、何ですか(3÷8)。「＝3÷8」と書きます。
残りの5問も、同じように、わり算の式を書きます。　※答え合わせ
・筆算は、ノートでやります。できたら立って説明練習。
(3/8を小数に直します。分子÷分母なので3÷8。答えは0.375です)。
※習熟システム

(13)・スキルの残りをやります。
・全部終わった人は、p122の「おぼえているかな」をやります。

★ポイント(50906)

(1)わり算の商は、分数で表すことができ、商分数は、「分子÷分母」であることを知る。
○「3÷4＝3/4」
○「3/4＝3÷4」。

(2)「1/3m」は、「1m」を3等分した1こ分であることを確認する。
○「2m」を3等分した1こ分→2/3m
○「2m」を全体とみる→全体の1/3(割合分数)　※単位は書かない
※「量分数」と「割合分数」は違う。

(3)整数や小数と同じように、分数でも倍で表せることを知る。
○「数直線図」がないときの、問題の解き方がわかる。
・青下線の部分を式にする。
「15mの□倍」→15×□
・この量が、何の量と同じかを「＝」で表す。
「15×□＝20」

○「割合表現」の問題の時は、黒板に「数直線図」の補助をする。
・「数直線図の式」から「問題の式」を出して答える。

(4)「分数」を「小数・整数」で表すときは、「分子÷分母」をすることを知る。

真分数→小数

《おしゃべり》
(1)3/4を小数に直します。
(2)分子÷分母なので，3÷4。
(3)答えは 0.75です。

(5)「小数・整数」を「分数」で表すときは、基本単位を分母にすることを知る。
○「0.5」は、「0.1＝1/10」が5こ分　→5/10。
○「0.03」は、「0.01＝1/100」が3こ分　→3/100。
○「7」は、「1＝1/1」が7こ分　→7/1。

509.5 差や和に注目して

50907 ◇第1時の授業 p118, p119

(1) ・118ページを開いたら,教科書を持って立ちます。
・追い読みをします(□1)。 ※追い読み→1人読み
(2) ・右側のさし絵を見ます。
・つよしさんとまいさんが、貯金箱を使って貯金をしています。
・つよしさんは、去年何円貯金していましたか(1200円)。
緑色の貯金箱の所に、「1200円」と書きます。
・つよしさんは、今年からは毎月何円ずつ貯金しますか(200円)。
貯金箱の入り口に、「毎月200円」と書きます。
・まいさんは、去年何円貯金していましたか(0円)。
赤豚の貯金箱の所に、「0円」と書きます。
・まいさんは、今年からは毎月何円ずつ貯金しますか(350円)。
貯金箱の入り口に、「毎月350円」と書きます。
・聞かれていることは何ですか(何月になると2人の貯金の金額が等しくなるか)。下線を引きます。
(3) ・Ａさん、あみさんの吹き出しと①を読んで下さい(読む)。
・①の表を見ます。この表だと、4月までの貯金の様子がわかります。
・表の上の段がつよしさん、下の段がまいさんですね。
・去年までは、つよしさんが1200円リードしていました。
・今年からは、まいさんの方が多く貯金するので、差がだんだん縮まってくるはずです。
(4) ・去年の貯金の説明をします。
「去年はの貯金は」(同)「つよしさん1200円、まいさん0円です」(同)。
・1月から、2人とも貯金を始めています。
・つよしさんは「200円」を貯金するので、1月は1200円から1400円になりました。2月は何円ですか(1600円)。3月は(1800円)。4月は(2000円)。
・表に書きます(作業)。
・まいさんは「350円」を貯金するので、1月は0円から350円になりました。
2月は何円です(700円)。3月は(1050円)。4月は(1400円)。
・表に書きます(作業)。
・まだまだつよしさんの方が多いけど、なんか差が縮まってきましたね。
・Ｃさん、しほさんの吹き出しを読んで下さい(読む)。
・4月のつよしさんの貯金は2000円、まいさんの貯金は1400円。
差は何円ですか(600円)。赤四角に書きます。
・去年までは「1200円」の差がありましたが、4月には「600円」の差になりました。表をもっと長くすればわかるかもしれません。
・Ｂさん、こうたさんの吹き出しを「…」を入れて読んで下さい(大変だ)。
表を長くかくのは大変です。もっといい方法を調べます。
(5) ・Ｄさん、②を読んで下さい(読む)。下の表を見ます。
・まず表の上二段は①の表と同じです。写します(作業)。
・一番下の段には、何を書きますか(差)。ここに「差(円)」と書きます。
・去年、つよしさんとまいさんの差は何円ですか(1200円)。書きます。
・1月の差は何円ですか(1050円)。2月と3月と4月を、同じようして調べます。 ※答え合わせ
(6) ・次のページを見ます。

・そこに、こうたさん考えとしほさんの考えが書いてあります。
・まず、こうたさんの方から見ます。
・こうたさんは、実際に、表を長く書きました。
・でも、実際に数を書いたのは、「差」の所だけです。
・つよしさんの貯金額とまいさんの貯金額を調べずに、なぜ「差」だけわかるのですか(毎月150円ずつ縮まるとわかっているから)。
・表の下の、青矢印の所を見ます。
表を横にして見ると、毎月「150円」ずつ縮まっています。丸囲み。
・4月の差は600円なので、5月の差は(450円)、6月の差は(300円)、7月の差は(150円)、そして8月の差は(0円)。
・なので、答えは何月ですか(8月)。2つの赤四角に書きます(8)。
(7)・次に、しほさんの所を見ます。
・Ｂさん、しほさんの所を読んで下さい(読む)。
・しほさんも、「毎月150円ずつ縮まる」ことを利用しています。囲む。
・「1200÷150」の式を見ます。
「1200」は、何を表してますか(最初の差)。「最初の差」と「1200」を結ぶ。
・「150」は、何を表してますか(150円ずつ縮まる)。
「150円ずつちぢまる」と「150」を結びます。
・「1200÷150」を筆算します。　※板書で筆算
・なので、答えは何月ですか(8月)。2つの赤四角に書きます(8)。
(8)・③「2人の考えを説明しましょう」とありますが、しほさんの考えを中心に説明練習します。　※説明台紙虫食い状態提示
・最初の差は(　　円)です。
・毎月(　　円)ずつ縮まります。
・なので、式は(　　)
・答えは(　　)です。
・「最初の差は1200円です」(同)「毎月150円ずつ縮まります」(同)
「なので式は1200÷150＝8」(同)「答えは8月です」(同)。
※追い読み→1人読み
(9)・Ｃさん、□2を読んで下さい(読む)。
・下のさし絵を見ます。
・川の西側と東側をつなぐ、橋の工事をしています。
・西側を指します(指す)。東側を指します(指す)。
・長さが何mの橋を建設するのですか(285m)。
絵に長さを書きます。問題文に丸囲み。
・西側の方の橋が少しだけできています。何mできましたか(30m)。
絵に長さを書きます。問題文の「昨日までに30m造り」を下線。
・下の表にも、「30」と書きます。おとなりチェック。　※「30」の場所
・西側は、今日から毎日何mずつ造りますか(6m)。問題文を丸囲み。
そうすると、西側の1日目は、何mになりますか(36m)。
・西側の、残りの欄を埋めます　※答え合わせ
(10)・東側のクレーンを指さします。東側は昨日までに何m造っていたのですか(0m)。なぜわかりますか(今日から造り始めと書いてあるから)。
・下の表にも、「0」と書きます。おとなりチェック。　※「0」の場所
・東側は、今日から毎日何mずつ造りますか(9m)。問題文を丸囲み。
そうすると、東側の1日目は、何mになりますか(9m)。
東側の、残りの欄を埋めます　※答え合わせ
(11)・できた橋の長さの合計が知りたいです。
・一番下の段に、何を書けばいいですか(和)。ここに「和」と書きます。
・昨日までの橋の長さの和は、何mですか(30m)。

どのようにして求めましたか(30＋0)。西側と東側をたしたのですね。
・残りの欄を、計算して全部埋めます(30, 45, 60, 75, 90)。
※答え合わせ
・ここが「285」になる日が答えですね。この表を長くかけばいつかは答えが出ますが、表を長くするのは大変そうです。
(12)・Ａさん、みさきさんの吹き出しを読んで下さい(読む)。
・表の、一番下の段を見ます。「和」は、毎日何mずつ増えてますか(15m)。
・それを使って、何とか計算で求めたいですね。
・今日から造らなければならない橋の長さは何mですか
(285－30=255　なので255m)。絵に「今日から255m」とかきます。
・答えが出たら先生チェック(255÷15＝17　17日)。
・合格した人はスキルチェックをしています。
※285÷15＝19の誤答が予想される。「おしい」と言って再考させる
(13)・スキル50番を出します。　※スキルシステム

★ポイント(50907)

(1)表のデータを使って、「和や差」で新たなデータを出し、それを使って問題を解くことができることを知る。

○つよしとまいの、毎月の貯金額の差を求め、それを使って「きまり」を見つけることができる。
・つよしとまいの貯金額の差は、毎月150円ずつ縮まっている。
・なので、「1200÷150」で求めることができる。

○西側と東側の、毎日の橋の長さの和を求め、それを使って「きまり」を見つけることができる。
・西側と東側の橋の長さの和は、毎日15mずつ増えている。
・なので、「255÷15」で求めることができる。

509.7 算数で読みとこう

50908 ◇第1時の授業 p120, p121

(1)・120ページを開いたら, 教科書を持って立ちます。
(2)・追い読みをします(□1)。 ※追い読み→1人読み
(3)・右側の、インターネットの記事を見ます。記事の「見出し」は何ですか
(小学5年生の体力、2021年に急に落ちる)。
・このグラフは、何グラフですか(折れ線グラフ)。
・「表題」は、何ですか
(全国体力テストの総合得点結果(小学5年生、男子))。
・「横軸」は、何を表していますか(年)。「横軸」を左側から読みます
(2016年, 2017年, 2018年, 2019年, 2021年)。
・2020年は、なぜないのですか(調査していないから)。書いてあります。
・「縦軸」は、何を表していますか(総合得点)。「縦軸」を下から読みます。
(0点, 52点, 53点, 54点, 55点)。0点から52点までいきなり跳びました。
・0点から52点までのデータはないので省いたようです。
・その証拠の記号は、何ですか(波線の記号)。
(4)・Aさん、それぞれの年の「総合得点」を読んで下さい
(2016年は53. 9点, 2017年は54. 2点, 2018年は…)。
・全員起立。Aさんと同じように読みます。読んだら座って2回3回。
(5)・Bさん、①を読んで下さい(読む)。
・「体力が急に落ちた」と言っている理由は、どこですか
(赤枠の所。下の方に、急に傾いている)。
・1点以上も、急に下がっていますね。
・聞かれていることは、「急に落ちたと言っていいか」です。
いいと思う人？ダメだと思う人？　近くの人と話し合います。
下の、はるとさんの吹き出しも参考にします。 ※話し合う
(横軸の目盛が、ここだけ2年になっているのはおかしい)。
(6)・ダメだと言っている人、どのようにすればいいですか
(1年ずつの目盛にする)。
・やってみます。ここは2021ではなく「2020」です。
・そして次の目盛を作って、そこに「2021」。
52. 5点の黒ポツをつけて結びます(作業)。
・これだと、2019年より落ちたことは落ちたのですが、「急に落ちたということにはならない」ということですね。
・Bさん、はるとさんの吹き出しを読んで下さい(読む)。
・調査してないからといって無視すると、「横軸」の1目盛が2年分になって、「急に落ちた」と感じてしまうのですね。
(7)・Cさん、②を読んで下さい(読む)。
・「小学生5年生の体力が落ちている」ということは、わかりました。
・Cさん、こうたさんの吹き出しを読んで下さい(読む)。
・体力テストの種目は、何種目ですか(8種目)。それは何ですか
(握力、上体起こし、…)。
・Dさん、「…」に言葉を入れて、しほさんの吹き出しを読んで下さい
(～記録が良い種目がある)。
・2021年の記録は落ちたと言っていますが、2021年の記録の方がよい種目があります。30秒で見つけて下さい(長座体前屈)。

・確かめます。「2021年の記録」と「2019年の記録」を比べていきます。
・握力は(落ちている)。上体起こしは(落ちている)。
・長座体前屈は(伸びている)。丸囲みをします。
・反復横跳びは(落ちている)。シャトルランは(落ちている)。
50m走は(伸びている?)。
・「50m走は伸びている」と言ってよいですか
(ダメ、時間は短い方が伸びているといえるから)。
・立ち幅跳びは(落ちている)。ソフトボール投げは(落ちている)。
・このデータを見ると、全部の種目の記録が落ちているわけではないことがわかりますね。
(8)・次のページを見ます。□2を追い読みします。※追い読み→1人読み
・どのくらいの運動が、心と体に良いのですか(1日20分)。
2カ所に丸囲みします。
(9)・しほさんが、何か提案しています。Dさん、読んで下さい(読む)。
・保健係では、アンケートを行いました。そして、下の、「データ2」「データ3」「データ4」の、3つのデータができました。
・まず「データ2」から見ます。Aさん、「データ2」を読んで下さい(読む)。
・一番多い回答は何ですか(30分未満)。2番目は(0分)。
なので、クラスのみんなは、あまり運動してないようです。
・Bさん、「データ3」を読んで下さい(読む)。
・一番多い回答は何ですか(遊びたい)。2番目は(まあまあ遊びたい)。
なので、クラスのみんなは、遊びたい人が多いようです。
(10)・「データ4」を見ます。「表題」は、何ですか(質問1と質問2のまとめ)。
この表は、「データ2」と「データ3」を合体した表です。
・「データ2」の人数は、どこに書かれていますか(右端)。
右端の「合計」の所を見ます。縦に読みます(4, 6, 17, 8)。
「データ2」を縦に読みます(4, 6, 17, 8)。同じですね。
・「データ3」の人数は、どこに書かれていますか(下側)。
下側の「合計」の所を見ます。横に読みます(16, 13, 3, 2)。
「データ3」を縦に読みます(16, 13, 3, 2)。同じですね。
・ここの「2人」はどんな人ですか。説明台紙を見ながら言います
(60分以上運動していて、遊びたいと思っている人)。
※説明台紙を黒板に書く
・(　　)運動していて、(　　)と思っている人。
・この表の中で、一番多いデータは「8人」です。どんな人ですか
(30分未満運動していて、まあまあ遊びたいと思っている人)。
・2番目に多いデータは「7人」です。どんな人ですか
(30分未満運動していて、遊びたいと思っている人)。
・3番目に多いデータは「5人」です。どんな人ですか
(30分以上60分未満運動していて、遊びたいと思っている人)。
・4番目に多いデータは「4人」です。どんな人ですか
(0分運動していて、まあまあ遊びたいと思っている人)。
(11)・Dさん、①を読んで下さい(読む)。
・りくさんが言っています。「ふだん運動する時間が少ないからと言って…」(遊びたくないわけではない)。
・それはデータのどこからわかりますか(ウエとカキの関係)。
・ふだん全然運動していなくても、遊びたいと思っている人が多いということが、このデータから分かりました。
・なので、保健係は、何を計画したのですか
(みんなで体を動かして遊ぶイベント)。赤下線をします。

・データをもとにイベントを計画した保健係は、すばらしいですね。
(12)・Ａさん、②を読んで下さい(読む)。
・はるとさんの吹き出しを見ながら考えます。
(体を動かす好きな遊びは何か)。脇に書きます。
・あなただったら、どんなイベントをしたいですか　※自由発言
(13)・スキルの51番を出します。52番を含めまとめのページです。
時間は関係ありません。じっくりと解き、自分で答え合わせをします。
・解き方がわからない場合や、答え合わせをしてどうしても合わない場合は先生を呼びます。

★ポイント(50908)

(1)折れ線グラフの「基本の読み方」を復習する。
○「表題」「横軸」「縦軸」をしっかりと読むことができる。
○グラフを見て、1つ1つのデータを読むことができる。
○「表題」と「データ」を見比べて、結論が正しいかどうかを判断できる。

(2)「2次元表」の読み方を復習する。
○「2次元表」のデータをしっかりと読むことができる。
○「2次元表」から何が言えるか、を説明することができる。
○出した結論をもとに、イベントを企画することができる。